

# 北京ヴァイオリン

観賞日 2022年6月27日 上映時間 116分

## 【概要】

制作 2003年 中国

監督 チェン・カイコー

脚本 シュエ・シャオルー

音楽 チャオ・リン

撮影 キム・ヒョング

出演 タン・ユン（チュン）、リウ・ペイチー（リウ）、ワン・チーウェン（チアン先生）

チェン・カイコー（ユイ教授）、チェン・ホン（リリ）、チャン・チン（リン）

ヴァイオリン演奏：リー・チュアンコン



## 【あらすじ】

大都会の北京にやって来たリウとチュンの親子。チュンは13歳の男子で「鳶が鷹を生んだ」ヴァイオリンの天才児。本格的にヴァイオリンのレッスンを受けるため、地方からはるばるやって来た。北京での最初のコンクール。入賞はするものの5位の成績に終わる。息子の成功をひたすら願うリウは「実力ではチュンが1番だ」と語ったチアン先生に息子のレッスンを頼む。次に、コンサートで見かけた大物のユイ教授に息子を託す。ところが、肝腎のチュンが大事な母の形見のヴァイオリンを無断で売ってしまっていた。それでも、チュンの天分を見抜いたユイ教授は自分の手元にチュンを置いてレッスンをを行う。やがて国際コンクールを迎え、ユイ教授門下の候補者はチュンと少女のリンに絞られる。そして教授の口からチュンの出場が告げられる。しかし、そこでチュンがとった意外な行動は……。また、リウが事前に教授に語ったチュンの出生の秘密とは……。

名作「砂の器」を思い出させる親子の熱い絆。人間の幸福を問う名作。

現代中国映画を牽引する名匠チェン・カイコーが夫人とともに自らも出演した魂の感動作。

## 【解説】

### ■ポイント

#### ●チェン・カイコー（1952年～）

北京生まれ。父親も映画監督。紅衛兵世代で文化大革命では父親を糾弾し、地方に下放される経験を持つ。1978年、北京電影学院に入学。1984年「黄色い大地」で監督デビュー。この作品の撮影監督がチャン・イーモウで、彼と共に「第5世代」の旗手となる。1993年「さらば、わが愛／霸王別姫」を発表、中国映画として初めてカンヌ国際映画祭パルムドール、ゴールデングローブ賞外国語映画賞を受賞し名声を高める。



### ■見どころ

#### ●感動的な親子愛

出生の秘密を隠しながら、息子の才能を信じ、無償の愛でひたすら息子の成功を祈る父親。父親の期待に応えようと頑張る息子。しかし、人生の岐路に立った息子が下した判断は。皆さんは少年のこの判断をどう評価しますか。

#### ●当時（2000年頃）の中国

改革開放政策が採られて約20年が経過した頃。当時は、古い中国（地方）と新しい中国（首都北京）が混在する時代

#### ●チュンの周りの善意の人たち

父親のリウ、チアン先生、チュンが憧れる年上の女性リリ